

びすけっと通信

GUNMA BISCKETTO NEWS "微助っ人"の輪を広げる 支え合いの地域づくり

今月の報告

吉岡町

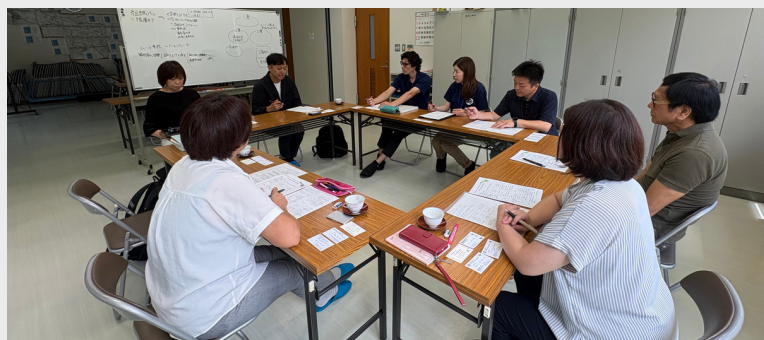
アドバイザー派遣を実施しました！

吉岡町よりアドバイザー派遣の依頼を受け、アドバイザーの目崎様、一柳様に派遣をお願いしました。

今回の相談は、協議体で居場所の話合いが中心となっていることについてです。協議体本来の活動につながりにくいことが課題となっていました。また、協議体や居場所の運営メンバーが集まりにくいことも悩みの一つです。

吉岡町には「わたげ隊」「ふれあい隊」の2つの協議体があります。それぞれの特色や課題について、生活支援コーディネーターのお二人からお話を伺いました。

地域の状況やメンバーの思いを把握しながら、より良い協議体の活動を目指して取り組むお二人の姿が印象的でした。



アドバイザーからは、他市町村の事例を紹介していただき、吉岡町でできることについてヒントをいただきました。

協議体の役割を改めてメンバーに伝えること。勉強会等を通じて、新たなメンバーとつながること。今後の方向性を伝えるタイミングや方法を考えること。こうした提案をもとに、吉岡町の悩みに寄り添いました。

また、今回の派遣を通して、行政・社協・地域包括支援センターが、それぞれの立場から地域の状況や課題を共有し、連携して協議体を支えていることを改めて感じました。この三者の連携は、吉岡町の大きな強みです！

吉岡町では毎月協議体の会議を開催しています。これまでの活動やつながりを大切にしながら、少しずつ今後の方向性を考えていきます。

今回の派遣をきっかけに、協議体の活動やつながりがさらに広がっていくことが楽しみです！



西部ブロック

利根・沼田ブロック

吾妻ブロック



昨年度すでに「居場所」をテーマに検討している西部ブロック。今年度は「移動」をテーマに検討していきます。



お困り事アンケートでも多く挙がった「移動」をテーマに、地域の課題や支援について検討していきます。



「居場所」をテーマに、地域における居場所の現状や役割について、さらに深掘りして検討していきます。

地域課題検討会
ブロック別

視 察 報 告

誰でもカフェ「カタリバ」

榛東村
2026.8.27



すべて手作りの飾りつけ！
「また集まりたい」と思える
温かな雰囲気です♡



「どなたでも気軽に立ち寄れる」をテーマに、毎月1回開催されている誰でもカフェ「カタリバ」。南部コミュニティセンターとふれあい館を交互に会場としています。

カタリバは、もっと居場所に通いたい方などの、「目的を限定しない居場所がほしい」という住民の声から始まりました。

今回は南部コミュニティセンターで開催！図書館や料理教室などもある施設のため、用事を済ませた住民さんが「ふらっと」立ち寄る姿もありました。常連さんや子どもたちも訪れ、マスター（担い手）が淹れたコーヒーを楽しみながら、思い思いに過ごしています。

マスターは、「おとこ塾（お互いさまのきっかけ塾）」で学んだコーヒーの淹れ方をきっかけに活動を始められたとのこと。「おいしいって飲んでもらえることが嬉しい」と、笑顔で活動を続けています。ほかにも、社協や地域包括支援センターの事業を通じてつながった方など、さまざまな住民さんが担い手として関わっています。

カタリバは、気軽に外出できる居場所であると同時に、住民同士の自然な交流や見守り、担い手の活躍の場にもなっています。テーブルの間隔を空けるなど、誰もが心地よく過ごせるような工夫もされていました。

住民の「こんな場所がほしい」という声から始まり、「やってみたい」という思いが担い手につながっているカタリバ。誰もが気軽に「ふらっと立ち寄れる」場が、地域のつながりを育んでいます。



県社協担当者のつぶやき

皆さま、視察を快くお引き受けいただき、誠にありがとうございます！
皆さまの素敵な取組を、事例集としてまとめていきたいと思っています。
担当者が変わっても、皆さまの取組や想いが次の担当者へつながっていく。そんな、これからの支援につながるものを作れたらいいなあ……と、日々考えている担当者です🌱



発行：群馬県社会福祉協議会地域福祉課
生活支援体制整備事業担当者：吉村・木村
TEL：027-255-6032

NEXT ISSUE
2026 9月号



次号は、とある町を取り上げます！
地域の素敵な取り組みをお届けします